

平成 25 年 2 月 6 日

安曇野市長 宮 澤 宗 弘

穂 高 地 域 審 議 会  
会 長 清 澤 仁 一

市民と行政の協働に向けた、行政システムのあり方について（答申）

本地域審議会は、平成 24 年 5 月 31 日付け 24 まち B7 3 第 1 号で貴職から諮問のありましたこのことについて、慎重審議によりその取り組むべき一定の方向性を見出したので、別添のとおり答申します。

なお、貴職におかれましては本答申を真摯に受け止められ、今後の市政の更なる発展に向けて主体性をもって取り組まれることを期待いたします。

# 答 申 書

～ 市民と行政の協働に向けた、  
行政システムのあり方について～

平成 25 年 2 月 6 日

穂 高 地 域 審 議 会

## はじめに

安曇野市が合併により誕生して7年が経過する中であって、市政は、その堅実な取り組みにより、「北アルプスに生まれ ころころ輝く 田園都市 安曇野」とする将来都市像の実現に向けて、着実な進展をみていることに敬意を表します。

さて、今日の少子・高齢化の進展や社会経済情勢等の変化とともに多種、多様化する市民ニーズに即したまちづくりの推進をはじめ広範な行政課題への対応が市政に求められております。このような情勢において、市民個人をはじめ地域の自治組織やNPO等の市民活動団体、また企業や各種事業体の取り組む市民活動と行政とが、連携して取り組む「市民との協働」は、これまでも増して重要となっています。

また、国においてはこうしたことを背景として、「公共」は「官」が中心であった従前の考え方を変えて、日本に昔からあった人や地域の絆を大切にしながらそれぞれが協働して支える「公共」を基本として、現代にふさわしい形に再構築した「新しい公共 = 支え合いと活気にあふれた社会」の創出に向け、県ともタイアップして住民との協働を推進するための様々な取り組みが検討されています。

安曇野市においては、「協働によるまちづくりの推進」として新市発足前の合併協議の段階から、新市において取り組むべき主要施策として協議が重ねられ「新市将来構想」、「安曇野市まちづくり計画」のもとに今日へと引き継がれています。そして新市が誕生してからは、「第1次安曇野市総合計画」をはじめ「安曇野市行財政改革大綱」等に基づいて、協働の推進に向けた具体的な取り組みが進められてきており、平成20年6月には、そのガイドラインともいえるべき「市民と行政の協働指針」が策定されたほか、協働の推進拠点としての「市民活動センター」が設置される等の一定の前進がみられています。

しかし、自立した自主的、自発的な市民活動に期待する協働の実現に向けては、市民の一層の理解とその重要性への認識を高める等のほか、まだ多くの対処すべき課題があり、行政の主体性のもとに更なる取り組みが必要であると考えます。

私ども穂高地域審議会は、協働に関する現状を前述のとおり考察のうえ、諮問されました「市民と行政の協働に向けた、行政システムのあり方について」の審議を重ねてまいりました。その結果を次のとおり答申します。

## 答申事項

「市民との協働」の推進は、市民との間に築かれた信頼関係と相互理解のもとに明確なビジョンをもって臨むことが重要であり、何よりも市民が参画しやすい環境（行政システム）の整備が求められています。

そのためには、次に掲げる視点に立った取り組みが必要であると考えます。

### 1 推進体制の整備について

- (1) 市民の声を反映した多種、多様な業務に対応するため、企画、調整機能を有する本庁組織のほか、市民に最も身近な総合支所にそのための窓口ともいえる担当部署を設置のうえ、必要な職員を配置すること。
- (2) 市民からの提案のほか必要な事項を協議、検討するための組織として「まちづくり推進会議（仮称）」を設置すること。

### 2 市民意識の向上等について

- (1) 効果的な情報の収集や提供をはじめ、出前講座等のあらゆる機会を捉えて、市民の自主的、自発的な参画を促すこと。
- (2) 市民からの相談や提案等への適時適切な対応のほか、必要な連携、調整に基づいた信頼関係の一層の構築に努めること。
- (3) 自主的な市民活動等を支えるための支援制度及び支援体制の拡充を図ること。

### 3 市民活動センターの見直しについて

市民活動センターは、現状において必要とされる役割を十分に果たしている状況にはなく、本来持つべき機能や担うべき役割を明確にするとともに、その管理運営を含めて早急に検討のうえ、必要な措置を講じること。

### 4 これまでの協議、検討の成果等の活用について

「市民と行政の協働指針」に基づいた推進を図るとともに、新市発足前の合併協議の段階から今日に至るまでの間に、様々に取り組まれてきた協議、検討の成果等を改めて検証のうえ、その十分な活用を図ること。

## 穂高地域審議会 開催状況（諮問関係）

【平成 24 年度】

回数	開催日	審議項目	備考
第 1 回	6 月 5 日	「市民と行政の協働に向けた、行政システムのあり方について」	諮問内容説明
第 2 回	8 月 28 日		
第 3 回	9 月 20 日		
第 4 回	1 2 月 6 日		答申書作成

穂高地域審議会委員名簿

区 分		氏 名	備 考
自治会の代表		なす まこと 那須 誠	穂高地域区長会長
		いちかわ なおや 市川 直哉	穂高地域区長
公共的団体に属する者		よしだ けんじ 吉田 賢司	安曇野市商工会
		あさかわ たかし 浅川 隆	安曇野市環境審議会
		かつの しゅうじ 勝野 周司	民生児童委員協議会
		いいぬま まさあき 飯沼 正明	あづみ農業協同組合
学識経験を有する者		のぐち ゆきひろ 野口 征洋	
	会長	きよさわ じんいち 清澤 仁一	
	副会長	こんの きょうこ 近野 京子	
		あるが かこ 有賀 佳子	
公募による者		はらだ まさよ 原田 匡代	
		しばた ようじ 柴田 洋二	
		ふじわら まさみつ 藤原 正三	
		まるやま たかし 丸山 多加志	
		あかぬま しょうこ 赤沼 章子	